

日冷倉協発第34号
平成26年6月4日

荷主各位

(一社)日本冷蔵倉庫協会

業務委員会委員長 西願 廣行



中国主要船社の日本向けリーファーコンテナの
フリータイム短縮問題に対するお願い

前略

本年5月に、中国主要船社よりリーファーコンテナのフリータイム期間を従来の3日間から1日に期間短縮し、早い船社で6月9日中国出港船より、その後各船社順次適用することを、各社のホームページ上で一斉に案内していることは、皆さま御承知のことと存じます。また、この措置は中国本土からの輸出に止まらず、世界各港からのコンテナもハブ港での積み替え分を含み、これらの中国船社の船を利用した場合は同様の扱いとなります。

輸入業務には、荷主、乙仲、港湾荷役会社、海上コンテナ輸送会社ならびに冷蔵倉庫と複数の業態企業が携わっており、今回のフリータイム短縮は輸入業務全体に混乱とコストアップを招く事になると思われます。

その中で私ども営業冷蔵倉庫に於いては次のような問題があります。

1. フリータイム1日での処理には限界があるのでデマレージ立替等の費用が発生

昨今のドレージ車両ドライバー、シャーシ、トラクタヘッド等の不足の現状に加えて、中国船社コンテナ搬入に必要な書類入手・手続き等に時間が掛かることを考慮すると、変更前のフリータイム3日間以内の作業でも大変でしたが、1日に短縮されると物理的に困難な状況となり、デマレージや時間外作業費用の発生等が避けられません。特に、入船・倉庫への搬入コンテナが集中した場合は相当な費用が発生すると思われます。

2. スケジュール調整の困難化と倉庫への搬入遅延

輸入コンテナの速やかな倉庫への搬入、入庫を実現するためには、入庫予定、入船予定、入船連絡、揚荷スケジュール、ヤードからの引取りスケジュール、倉庫への搬入スケジュール、入庫作業スケジュール等を関係者間で共有化することが必要となりますが、

現状では

- ① 中国船社よりの運行情報の遅れや書類の到着遅延と入船遅延
- ② 入港時期が週末、月末月初、連休期間などになった場合の貨物集中とヤード休業
- ③ ドレージ等の手配困難。

などの問題があり、フリータイム期間内での搬入が困難となります。

以上の事から、当協会と致しましては会員各事業者の窮状に鑑み、下記の事項のご確認をお願いする次第です。

記

1. 倉庫への搬入迅速化には、事前の予定連絡等を従来以上に密にし、倉庫への搬入スケジュール早期確定へのご協力が必須
2. 発生しましたデマレージについては荷主様ご負担をお願いする事
3. リーファーコンテナの搬入順位については、倉庫業法第10条（差別的取扱の禁止）に従い、荷主別・貨物別に優先的扱いをする事は致しかねる事
4. 基本的には、ヤードから倉庫への搬入確定スケジュールの早い順に受け入れ、デバンをせざるを得ない事
5. 倉庫への搬入遅延は後回しにせざるを得ない事
6. 時間外・休日作業が発生した場合は割増料金が発生する事
7. 倉庫への搬入遅延等によるデバン作業キャンセルの場合、キャンセル料金が発生する事

以上

ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。